

CT-20

このたびは、ノボルのメロディータイマー、CT-20をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、必ず保管してください。（保証書付）



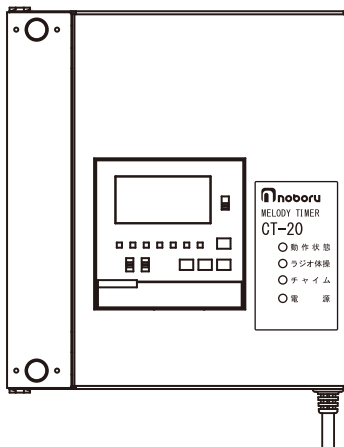
裏面の「安全上のご注意」をお読みになってから本文をお読みください。

■特長

- 壁掛け・据置きどちらでも設置できます。
 - 従来製品より省スペース化しています。
 - タイムスイッチを内蔵しています。（内蔵のタイマーにより1週間単位で始業、終業時のチャイム放送、ラジオ体操放送ができます。）
 - タイムスイッチの時刻合わせ用入力が付いています。
 - 接続端子にスクリーンレス端子を使用していますので、配線の接続工事が簡単です。
 - チャイムまたはラジオ体操から2種類選択することができます。（収録曲11曲から2曲選択可能）
- 音源：一般財団法人 NHKサービスセンター
販売元：株式会社ノボル電機



T-1150073













●目次

安全上のご注意	2	出力端子台への接続方法	12
各部の名称と説明(前面/側面)	4	接続例	13
タイムスイッチ部の名称	4	時刻合わせ入力の接続方法	14
各部の名称と説明(端子カバーの内部)	5	設置方法	15
使用方法	6	故障かな?	16
①ダストカバーの取り外し方、取り付け方	6	仕様	17
②チャイム放送のやり方	6	外觀図	18
③ラジオ体操放送のやり方	8	プログラム登録内容表	19
④プログラムの確認及び修正のやり方	10	保証書	20
任意の曜日のプログラムの確認			
登録したプログラムの内容の確認及び修正			
⑤プログラムの消去のやり方	10		
登録したプログラムを部分的に消去する			
登録したプログラムを回路単位で全て消去する			
⑥現在時刻、曜日の修正のやり方	11		
⑦その他の使用方法	11		

■安全上のご注意

この安全上のご注意及び製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	<p>この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>		<p>この記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。</p>
 注意	<p>この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>		<p>この記号は禁止の行為であることを告げるものです。</p>
			<p>この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 ●の中や近くに具体的な強制・指示内容が描かれています。</p>

 警告	
<ul style="list-style-type: none"> ●表示された電源電圧（AC100V）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ●この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。 	 禁止
<ul style="list-style-type: none"> ●風呂場などの水場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。 	 水場禁止
<ul style="list-style-type: none"> ●この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。 ●この機器のキャビネット、カバーは、絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。 	 分解禁止
<ul style="list-style-type: none"> ●万一、煙が出てい、変なにおいや音するなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。 ●万一、機器の内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ●万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 	 警告  電源プラグを抜く
<ul style="list-style-type: none"> ●内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。 	 禁止
<ul style="list-style-type: none"> ●この機器の上に花瓶、コップ、化粧品等、液体の入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。 	 禁止
<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードが本機の下敷きにならないようにしてください。電源コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。電源コードの上を敷物などで覆いますと、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがありますのでやめてください。 ●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。電源コードが破損して、火災・感電の原因となります。 	 禁止
<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 	 禁止

⚠ 注意

- 他の機器を接続する場合は各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源プラグをコンセントから抜いた状態で説明に従って接続してください。又、接続は指定の接続コードを使用してください。指定以外の接続コードを使用したり接続コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



禁止

- 電源プラグをコンセントに差し込む前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となります。



注意

- ヒーターの熱風や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に設置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



禁止

- 湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止

- この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。この機器が倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



禁止

- お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

- 年に一度ぐらいは、機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。



注意

- 長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

- 移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。電源コードと接続コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。



禁止

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

- この機器はコンセントの近くに設置し、万一の事故防止のため、すぐにコンセントから電源プラグを抜けるようにして使用してください。



強制

- 本機の遮断装置は、電源プラグになります。電源プラグが容易に操作できるように、コンセントの近くで使用してください。



強制

■各部の名称と説明（前面/側面）

タイムスイッチ部
時刻合わせや時間設定を行います。

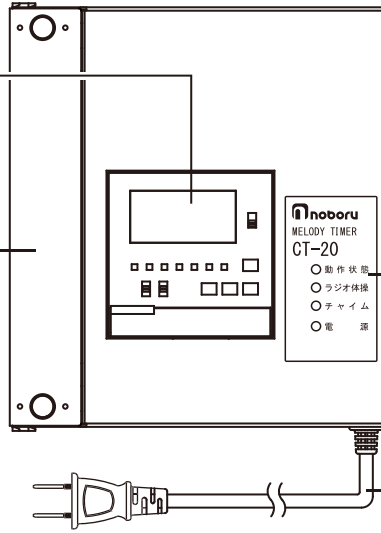
端子カバー
配線や調節するときにカバーを外します。終了後は必ずこのカバーを取り付けてください。端子カバーの内部はP5「各部の名称と説明」をご覧ください。

動作状態表示灯(赤)
内蔵プレーヤーの状況に応じて点灯します。

ラジオ体操表示灯(橙)
ラジオ体操放送時に点灯します。

チャイム表示灯(橙)
チャイム放送時に点灯します。

電源表示灯(青)
電源プラグをAC100Vコンセントへ差し込むと点灯します。



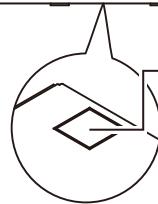
カバー留め具
引くと端子カバーを手で取り外すことができます。

コード引き出し口
外からのコードを通した後に接続または接続後にコードを通してください。

ブラケット取付穴(2箇所)
付属品の壁掛け用ブラケットを取り付ける穴です。壁掛けで設置する時にブラケットをご使用ください。P.15「設置方法(壁掛けの場合)」を参照してください。

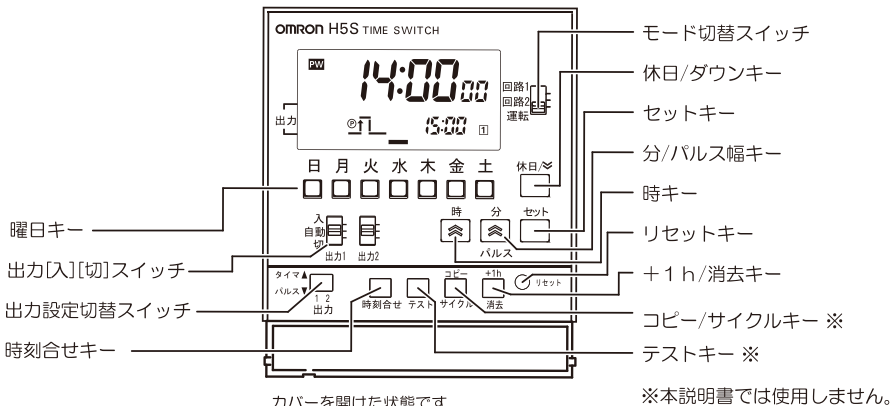
電源コード
電源プラグをAC100Vコンセントに接続してください。

ダストカバー
タイムスイッチを操作する時は、カバーを取り外してください。操作終了後は必ずこのカバーを取り付けてください。



ゴム足貼り付け位置(4箇所)
付属品のゴム足を貼り付ける位置です。卓上・据置で設置する時にゴム足をご使用ください。(P15「設置方法(卓上・据置で設置する場合)」を参照してください)

■タイムスイッチ部の名称



カバーを開けた状態です

※本説明書では使用しません。

■各部の名称と説明（端子カバーの内部）

回路1曲目切替スイッチ（チャイム）

チャイムの曲目を選択してください。
 (8曲のうち1曲選択、音源の詳細は、P17「仕様：内蔵音源」を参照してください)

回路2曲目切替スイッチ（ラジオ体操）

ラジオ体操またはチャイムの曲目を選択してください。
 (11曲のうち1曲選択、音源の詳細は、P17「仕様：内蔵音源」を参照してください)
 注意：チャイムの曲目を選択した場合もラジオ体操表示灯（燈）が点灯しますのでご注意ください。

回路1音量調節つまみ（チャイム）

チャイムの音量を調節します。

回路2音量調節つまみ（ラジオ体操）

ラジオ体操またはチャイムの音量を調節します。

遅延時間調節つまみ

起動されて放送を開始するまでの遅延時間(0~約5秒)を設定します。
 出荷時設定は、0秒に設定しています。

出力レベル切換スイッチ

(-20dBV/600Ω、0dBV/600Ω)
 外部接続する機器に合わせて切り換えてください。

出力端子

(-20dBV/600Ω 不平衡、0dBV/600Ω 不平衡)
 [出力レベル切換スイッチ付]
 起動時、ラジオ体操とチャイムが出力されます。

出力接点端子

無電圧メーク接点
 接点容量DC24V、1A
 (抵抗負荷)

時刻合わせ用入力端子

接点を閉じるとタイムスイッチの時刻が00分00秒になります。

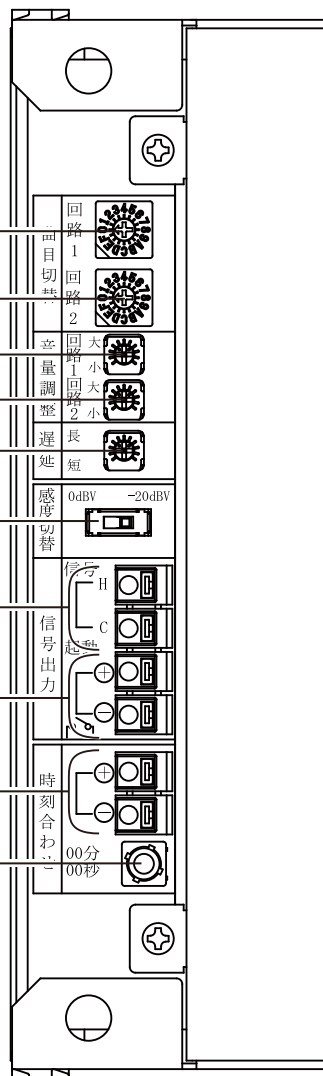
時刻合わせ用ボタン

ボタンを押しますとタイムスイッチの時刻が00分00秒になります。

<時刻合わせ用入力・ボタンの使用例>

10:01~10:29 → 10:00

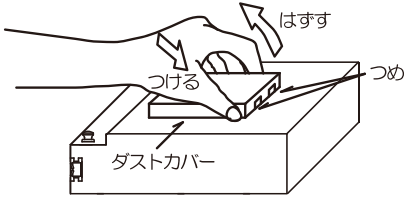
10:30~10:59 → 11:00





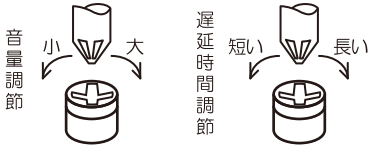
■使用方法

- ・電源プラグをAC100Vコンセントに差し込んでください。
- ・電源表示灯が青色に点灯していることを確認してください。

①ダストカバーの取り外し方、取り付け方

	<p>タイムスイッチ部を操作するときは手でダストカバーを取り外してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 図の部分を手で強くつかみながら上に持ち上げてはずしてください。 2. 付けるときは元の位置にかぶせて、手で押えると留まります。
--	--







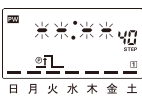




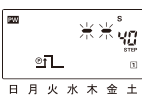



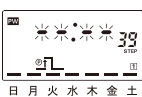


②チャイム放送のやり方

<h4>1. 曲目の選択、調節及び確認</h4>	
<p>回路1曲目切替スイッチ（チャイム）</p>  <p>4: ウェストミンスターA 9: 別れのフルーツ 5: ウェストミンスターB A: 家路 6: ウェストミンスターC B: パール・ギユント 朝 7: ホイティングトンA 8: ホイティングトンB</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 回路1曲目切替スイッチを操作して左記いずれかの曲を選んでください。 <p>工場出荷時は「5: ウェストミンスターB」になっています。</p> <p>適合工具: プラスドライバー 軸径φ3.5mm、刃先 No.1</p>
<p>出力 [入] [切]</p> <p>チャイムを手動で鳴らす。</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 2. 出力 [入] [切] スwitchの出力1を [入] にしてください。チャイム表示灯が橙色に点灯し、直後に動作状態表示灯が赤色に点灯してチャイムが鳴動します。
<p>ご注意</p> <p>ボリュームを強い力で回すと壊れることがあります。プラスドライバーで軽く回すようにしてください。（最大回転角度 210°）</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 3. 音量は回路1音量調節つまみで調節してください。 4. 遅延時間は遅延時間調節つまみで調節してください。 <p>適合工具: プラスドライバー 軸径φ3.5mm、刃先 No.1</p> <p>※遅延時間は、チャイム・ラジオ体操共通になっていますので個別に調節はできません。</p> <p>出荷時は回路1または回路2音量調節つまみの回転位置を最小に、遅延時間調節つまみは0秒に合わせてあります。</p>

7ページへ続く

(6ページから続き) ②チャイム放送のやり方

2. 自動放送プログラムの登録

<p>出力設定切替 タイマ ▲  ▼</p> <p>パルス ▼ </p> <p>1 2 出力</p> <p>放送時刻の設定後1、2スイッチを動かすとスイッチに対応した設定内容が消えてしまいますのでご注意ください。</p>	<p>1. タイムスイッチ部の下部にあるフタを開けて出力設定切替スイッチ1、2とも「パルス」にしてください。 製品出荷時は図のように設定しています。</p>
<p>出力 [入] [切]</p> <p>入 </p> <p>自動</p> <p>切</p> <p>出力1</p>	<p>2. タイムスイッチ部の出力 [入] [切] スイッチの出力1を「自動」にしてください。</p>
<p>モード切替</p> <p>回路1 </p> <p>回路2</p> <p>運転</p>	<p>3. タイムスイッチ部のモード切替スイッチを「回路1」にしてください。</p>
<p>4.  日月火水木金土 </p> <p></p> <p>日月火水木金土</p> <p>5.  時  分</p> <p></p> <p>日月火水木金土</p> <p>6.  セット</p> <p></p> <p>日月火水木金土</p> <p>7.  分</p> <p></p> <p>日月火水木金土</p> <p>8.  セット</p> <p></p> <p>日月火水木金土</p> <p>9.  分</p> <p>モード切替</p> <p>回路1 </p> <p>回路2</p> <p>運転</p>	<p>4. [曜日]キーを押してチャイムを鳴らしたい曜日に全て「—」マークを表示させてください。(これで毎日、月～土曜日などの指定ができます。)</p> <p>5. [時]、[分/パルス幅]キーを押してチャイム演奏開始時刻を表示させてください。(※1)左図は月～金曜日のAM8:00にチャイムを鳴らす設定です。</p> <p>※1 : [時]、[分]キーを押し続けると早送りになります。 [休日/≠]キーを押すと直前に押した値がダウンします。</p> <p>6. [セット]キーを押してください。画面の表示時間が切り替わって点滅します。</p> <p>7. [分/パルス幅]キーを押してチャイム放送時間の[30S]を表示させます。 (※1) 下記のチャイムを選択した場合は、下記の「分/パルス幅」の設定に変更してください。</p> <p>9 : 別れのワルツ [4min] A : 家路 [2min] B : ベール・ギュント 朝 [3min]</p> <p>8. [セット]キーを押してください。画面の表示時間が切り替わって点滅します。</p> <p>9. 4～8の手順をくり返し全てのプログラムを登録してください。登録が終了しましたら、[モード切替]スイッチを「運転」にしてください。現在時刻が表示されたら登録は終了です。</p> <p>[パルス幅]は演奏時間、[m]、[s]はそれぞれ、分、秒を表します。各キーやスイッチの位置は、P4のタイムスイッチ部の名称を参照してください。</p>

③ラジオ体操放送のやり方

1. 曲目の選択、調整及び確認

回路2曲目切替スイッチ（ラジオ体操）



- 回路2曲目切替スイッチを操作して下記のいずれかの曲を選んでください。
 - ラジオ体操第1
 - ラジオ体操第2
 - ラジオ体操第1&ラジオ体操第2

チャイムも選択することができます。曲目は、P6をご参照ください。工場出荷時は「1：ラジオ体操第1」になっています。

適合工具：プラスドライバー
軸径φ3.5mm、刃先 No.1

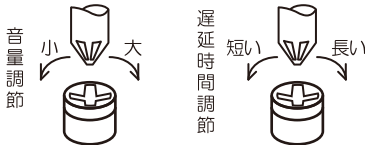
出力 [入] [切]



- 出力 [入] [切] スイッチの出力2を [入] にしてください。ラジオ体操表示灯が橙色に点灯し、直後に動作表示灯が赤色に点灯して放送状態になります。

ご注意

ボリュームを強い力で回すと壊れることがあります。プラスドライバーで軽く回すようにしてください。（最大回転角度210°）



- 音量は回路2音量調節つまみで調節してください。
- 遅延時間は遅延時間調節つまみで調節してください。

適合工具：プラスドライバー
軸径φ3.5mm、刃先 No.1

※遅延時間は、チャイム・ラジオ体操共通になっていますので個別に調節はできません。

出荷時は回路1または回路2音量調節つまみの回転位置を最小に、遅延時間調節つまみは0秒に合わせてあります。

2. 自動放送プログラムの登録

出力設定切替 タイマ



放送時刻の設定後1、2スイッチを動かすとスイッチに対応した設定内容が消えてしまいますのでご注意ください。

- タイムスイッチ部の下部にあるフタを開けて出力設定切替スイッチ1、2とも [パルス] にしてください。製品出荷時は図のように設定しています。

出力 [入] [切]



- タイムスイッチ部の出力 [入] [切] スイッチの出力2を [自動] にしてください。








		記入例		月		火	
出力		1	2	1	2	1	2
放送		チャイム パルス 25秒	ラジオ 体操	チャイム パルス 25秒	ラジオ 体操	チャイム パルス 25秒	ラジオ 体操
A		8:20					
M			8:25 (4分)				

- 放送時間記録用紙の出力2（ラジオ体操）の枠に放送したい時刻と演奏時間を記入してください。

例（放送時間）（演奏時間）
1 AM8：25～ 4分間…分の設定

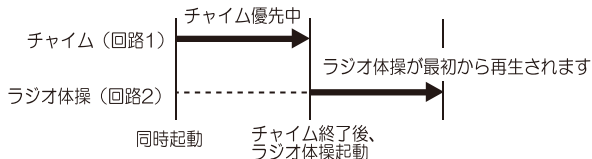
（19ページの放送時間記録用紙の記入例を参照）

(8ページから続き) ③ラジオ体操放送のやり方

<p>モード切替</p> 	<p>4. タイムスイッチ部のモード切替スイッチを「回路2」にしてください。</p>
<p>5.</p>  <p>6.</p>  <p>7.</p>  <p>8.</p>  <p>9.</p>  <p>10.</p> <p>モード切替</p> 	<p>分の設定</p> <p>5. [曜日]キーを押してラジオ体操を放送する曜日に全て“*”マークを表示させてください。(これで毎日、月～土曜日等の指定ができます。)</p> <p>6. [時]、[分/パルス幅]キーを押して、ラジオ体操開始時刻を表示させて下さい。(※1) 左図は月～金曜日のAM8:00にラジオ体操第一を放送する設定です。</p> <p>※1：[時]、[分]キーを押し続けると早送りになります。[休日/≒]キーを押すと直前に押した値がダウンします。</p> <p>7. [セット]キーを押してください。画面の表示時間が切り替わって点滅します。</p> <p>8. [分/パルス幅]キーを押してラジオ体操放送時間の[4min]を表示させます。(※1)(※2)</p> <p>※2：ラジオ体操第一&ラジオ体操第二を放送される場合は放送時間を「7min」にして下さい。チャムを選択した場合はP7「②チャムのやり方、2.自動放送プログラムの登録：手順7」をご参照ください。</p> <p>9. [セット]キーを押してください。画面の表示時間が切り替わって点滅します。</p> <p>10. 5～9の手順をくり返してすべてのプログラムを登録してください。登録が終了しましたら、[モード切替]スイッチを「運転」にしてください。現在時刻が表示されたら登録は終了です。</p>

注意

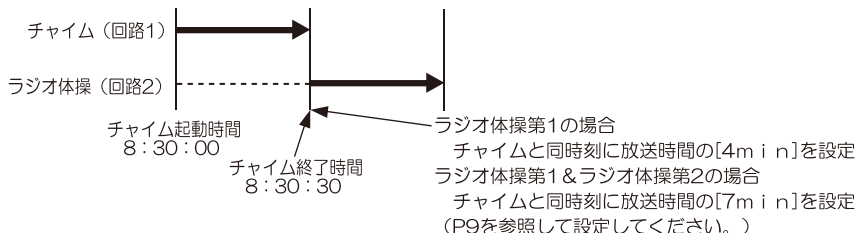
チャム(回路1)とラジオ体操(回路2)を同時に起動した場合、チャムの出力が優先されます。この時チャムが先に終了すると、続けてラジオ体操が最初から再生されます。



例 チャイム終了直後にラジオ体操を放送したい場合

- ①放送したいチャイムを選択した後、指定時刻に演奏時間の[30S]を設定します。
- ②次にラジオ体操第一を選択し、チャイムと同時刻に放送時間の[4m i n]を設定します。
ラジオ体操第一&ラジオ体操第二の場合は放送時間を[7m i n]に設定して下さい。

演奏時間を[30S]に設定（P7を参照して設定してください）



④プログラムの確認及び修正のやり方

<p>1. 任意の曜日のプログラムの確認</p> <p>日月火水木金土</p>	<p>[モード切替]を[運転]にしてください。 確認したい曜日の[曜日]キーを2秒以上押してください。[CHEC]が点滅し、プログラムが表示されます。[セット]キーを押すと次のプログラムが表示されずすべての登録内容が表示されたら現在時刻の表示に戻ります。</p>
<p>2. 登録したプログラムの内容の確認及び修正</p> <p>日月火水木金土</p>	<p>[モード切替]スイッチをチャイムの場合は[回路1]に、ラジオ体操の場合は[回路2]に切替えます。 [セット]キーを押すと登録内容が表示されます。押す度に登録内容が[時刻]、[放送時間]の順で表示されます。 修正する場合、修正したい箇所が表示されている時に[時]、[分/パルス幅]キーにて変更し[セット]キーを押してください。 最後に[モード切替]スイッチを[運転]に戻します。</p>

⑤プログラムの消去のやり方

<p>1. 登録したプログラムを部分的に消去する</p>	<p>[モード切替]スイッチを[回路1]または[回路2]に切替え、消去したいプログラムを表示します。 [+1h/消去]キーを短く押すと左図のように表示されます。 [セット]キーを押すと消去されます。 [CLr]が点滅している時に[+1h/消去]キーを押すと消去がキャンセルされます。</p>
<p>2. 登録したプログラムを回路単位で全て消去する</p>	<p>[モード切替]スイッチを全て消去したい回路([回路1]または[回路2])に切替えます。 [+1h/消去]キーを3秒以上押すと左図のように表示されます。 [セット]キーを押すと選択した回路の全プログラムが消去されます。 [CLr]が点滅している時に[+1h/消去]キーを押すと消去がキャンセルされます。</p>

⑥現在時刻、曜日の修正のやり方

現在時刻、曜日を修正する	
<p>日月火水木金土</p>	<p>[モード切替]を[運転]にしてください。 [時刻合せ]キーを2秒以上押してください。 時計マークが点滅表示されます。[時]、[分／パルス幅]キーで時刻を設定してください。 次に、本日の[曜日]キーを押して設定してください。 最後に[セット]キーを押してください。 押した瞬間から時計がスタートします。</p>

⑦その他の使用方法

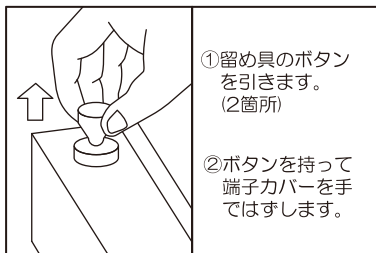
1. 12/24h表示の切替	
<p>日月火水木金土</p>	<p>[モード切替]を[運転]にしてください。 [時]キーを2秒押すごとに[24時間表示]と[AM/PM 12時間表示]に切替ります。</p>
2. 一時的に休日(非動作日)を設定する	
<p>日月火水木金土</p> <p>点灯(プログラム動作) ⇔ 消灯(休日)</p>	<p>[モード切替]を[運転]にしてください。 [休日/≒]キーを2秒以上押してください。 左図のように表示が切替るので休日になりたい曜日の[曜日]キーを押して消灯してください。 最後に[セット]キーを押して設定完了です。</p> <p>休日は本日より6日後まで設定できます。対象の休日を過ぎると設定は自動で消えます。</p>
3. チャイムのテスト放送のやり方	
<p>出力 [入] [切]</p> <p>出力1</p>	<p>例：回路1をチャイムにした場合</p> <p>出力[入]、[切]スイッチの出力1を[入]にしてください。チャイム表示灯が橙色に点灯、直後に動作状態表示灯が赤色に点灯し、チャイムが鳴動します。</p>
4. ラジオ体操のテスト放送のやり方	
<p>出力 [入] [切]</p> <p>出力2</p>	<p>例：回路2をラジオ体操にした場合</p> <p>出力[入]、[切]スイッチの出力2を[入]にしてください。ラジオ体操灯が橙色に点灯、直後に動作状態表示灯が赤色に点灯し、ラジオ体操が放送されます。</p>

※タイムスイッチの詳細につきましては、別冊「H5Sデジタル・タイムスイッチ取扱説明書」をご参照ください。

■ 出力端子台への接続方法

1. 端子カバーを取り外す。

- 正面左の端子カバーを手ではずしてください。



警告 端子カバーをはずすときは、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。

2. 接続コードを端子台に接続する。

- 接続コードの外被をむき(適合むきしろ長さ：10mm)、端子台へボタンを押しながら差し込みます。(図1参照)

適合工具：マイナスドライバー 軸径φ3mm、刃先幅2.6mm

- 使用可能電線
 単線：φ0.4～φ1.0mm (AWG 26～18)
 より線：0.3～0.75mm² (AWG 22～20)

- 接続コードをアンプへ配線してください。極性を合わせてください。

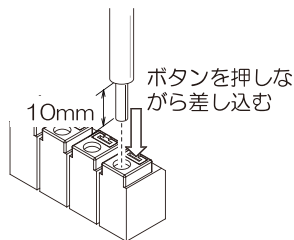
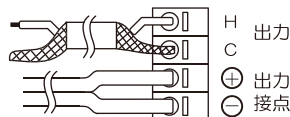


図1

アンプライン入力端子へ

ホット：H (芯線) (+) H 出力
 コールド：C (外径線) (-) C 出力

アンプ起動端子へ

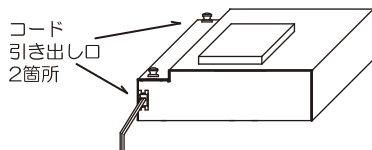


警告 出力接点にAC100Vを直接接続しないでください。

- 接続コードを抜くときは、ボタンを押しながら引き抜いてください。

推奨接続コード：入力線はシールド線、その他は平行線を推奨します。

- ケースの外へコードを引出す場合は必ずコード引き出し口から行ってください。

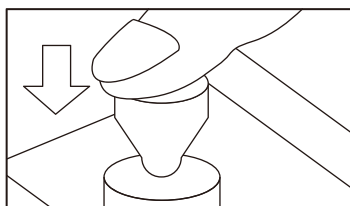
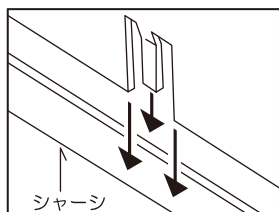


3. 端子カバーを取り付ける。

- 接続または調節後は、必ず端子カバーを元の状態に取り付けてください。

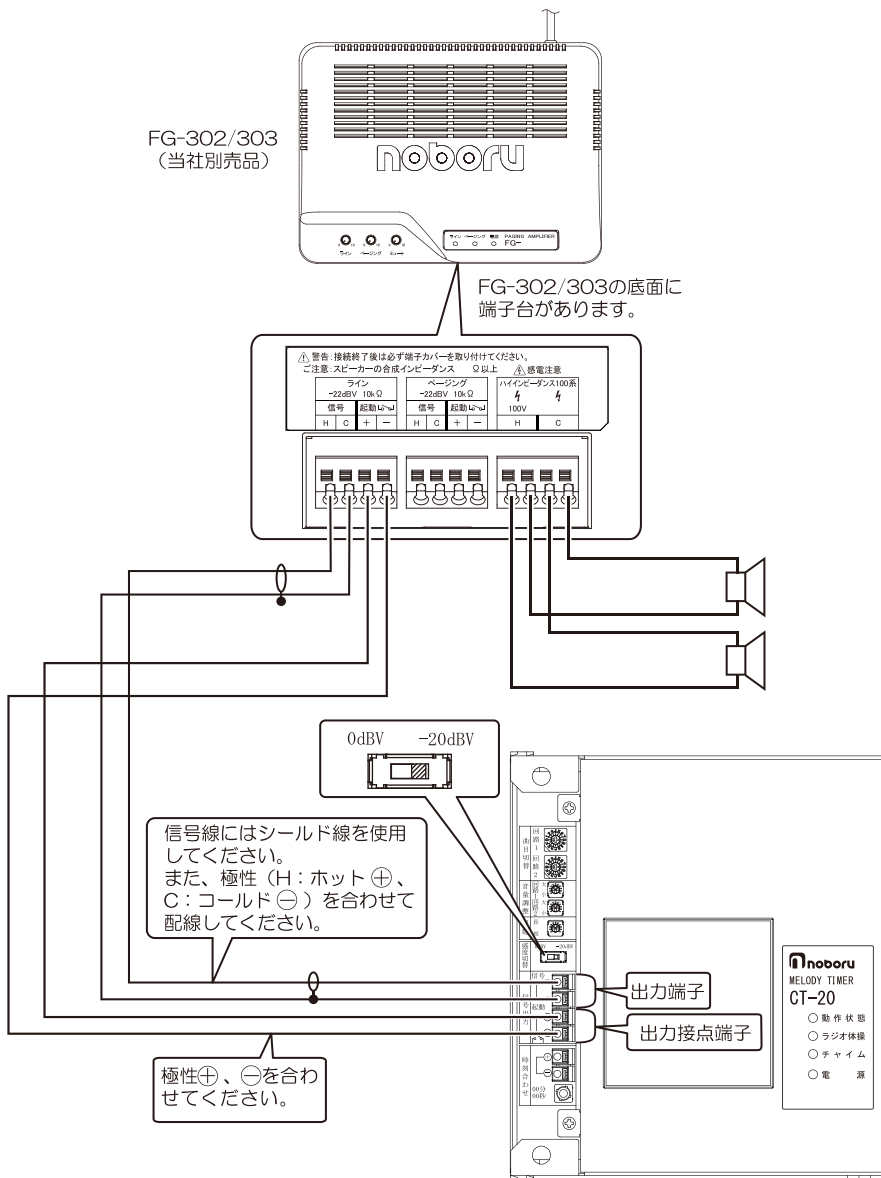
①端子カバーの横のつめをシャーシのふちにはさみながら取り付けます。

②留め具のボタン(2箇所)を押して固定します。



■ 接続例

<別売品：FG-302/303への接続方法>



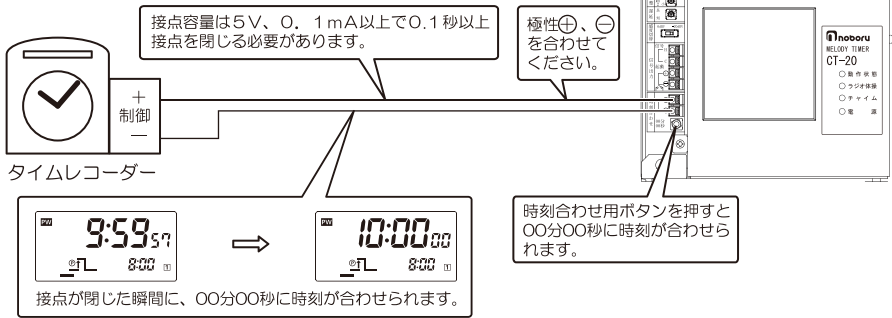
■時刻合わせ入力の接続方法

接点出力可能なタイムレコーダー等と接続してCT-20のタイムスイッチの時刻を同期させることができます。

●使用可能電線

単線 : $\phi 0.4 \sim \phi 1.0 \text{mm}$ (AWG 26~18)




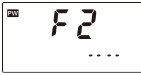
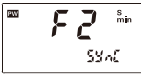



より線 : $0.3 \sim 0.75 \text{mm}^2$ (AWG 22~20)



注意

「リセット」キーを押すと時刻合せ入力（時刻同期）機能が使用できなくなります。

製品出荷時は時刻合せ入力ができるように設定を行っていますが、タイムスイッチを「リセット」キーにより初期化すると再度設定しなおす必要があります。そのような場合は下記の手順で再設定してください。

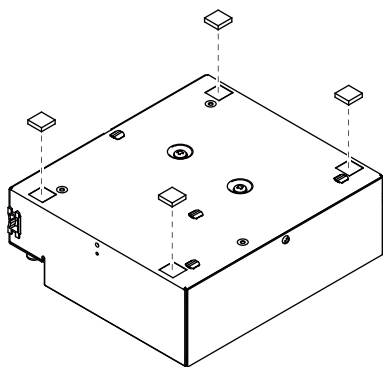
モード切替 回路1  回路2  運転 	1. モード切替スイッチを「回路1」または「回路2」にしてから、「時刻合せ」キーを3秒以上押してください。
	2. 表示が切り替わったら、「時刻合せ」キーを押して「F2」を表示させる。
	3. 「時」または「分/パルス幅」キーを押して左図の表示にしてから、「セット」キーを押してください。
モード切替 回路1  回路2  運転 	4. モード切替スイッチを「運転」にしてください。

■ 設置方法

卓上・据置で設置する場合

付属品のゴム足を使用して机の上などに設置してください。

本体の底面にゴム足(4個)を貼り付けます。



壁掛けの場合

付属品：ブラケットとバインドねじを使用する。

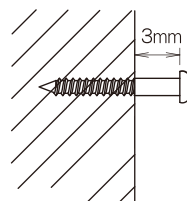
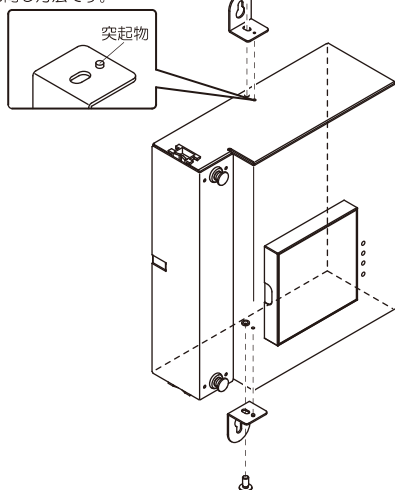
1. ブラケット(2個)をバインドねじ(2本)で本体に取り付ける。
2. 壁面にねじ(2本)を用意し、1本を仮止めする。

※壁面用ねじは付属していません。

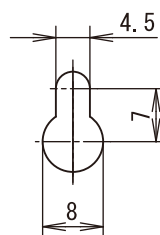
取り付ける壁面に適したねじを使用してください。

- 壁面より3mm出して、仮止めしてください。

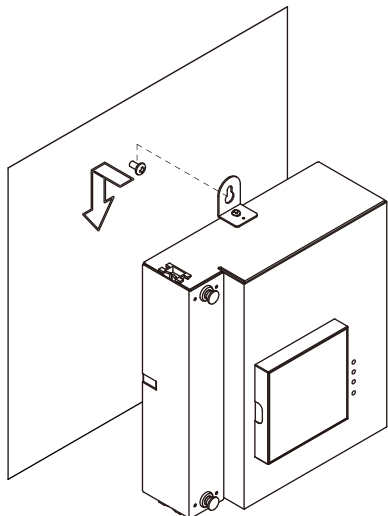
ブラケットに突起物があります。
本体にある穴に合わせてください。
下側も同じ方法です。



<ブラケット取付穴のサイズ>

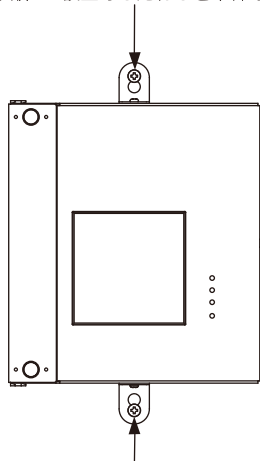


3. ブラケットを壁面に仮止めしたねじに引っ掛ける。



4. 仮止めしたねじ：1本を本締めする。もう1本のねじを下側のブラケットに本締めする。

手順1：仮止めしたねじを本締めする。



手順2：もう1本のねじを本締めする。

■故障かな？

機器の調子がおかしい時、案外簡単なことが原因となっている場合があります。修理を依頼される前に次の点検項目をチェックしてみてください。

症 状	点 検 項 目	対 策
全く動作しない	電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源表示灯が点灯していますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	各音量調節つまみが絞られていますか。	各音量を適当な音量に調節してください。
ラジオ体操、チャイムが鳴らない	タイムスイッチの出力「入」「切」スイッチが「切」になっていませんか。	「入」にして鳴るかどうか確認してください。
	タイムスイッチの出力「入」「切」スイッチが「入」になっていませんか。	一度、「自動」にしてから再度「入」にして確認してください。
	ご使用の音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
	信号出力線は確実に接続されていますか。	信号出力線を確実に接続してください。
	動作状態表示灯(赤)が点滅していませんか。※注	常時点滅している場合は、故障していますので、修理が必要になります。
設定した時間に鳴らない	回路1または回路2曲目切替スイッチの位置が収録されている番号になっていませんか。	曲目を指定しても鳴らない場合は、故障していますので、修理が必要になります。
	出力設定切替スイッチが「自動」になっていますか。	「自動」に切り換えてください。
	プログラムの設定内容に間違いはありませんか。	プログラムの時間と曜日ごとをご確認ください。(P6をご参照ください)
チャイムの演奏時間がプログラムできない。	モード切替スイッチが「運転」になっていますか。	「運転」に切り換えてください。
	タイムスイッチの出力設定切替スイッチが「タイム」動作側になっていませんか。	「パルス」動作側に切り換えてください。「パルス」動作に切り換える場合、プログラムがすべて消えてしまいます。切り換える前にプログラム内容を確認または記録してから「パルス」動作に切り換えてプログラムを再登録してください。
雑音がかかる	本機や信号出力線などがノイズを発生する機器の近くにありませんか。	ノイズを発生する機器から遠ざけてください。信号出力線をシールド線にしてください。
	信号出力線の極性、H(ホット)(+)、C(コールド)(-)を間違えていませんか。	H(ホット)(+)、C(コールド)(-)の極性を合わせて配線してください。

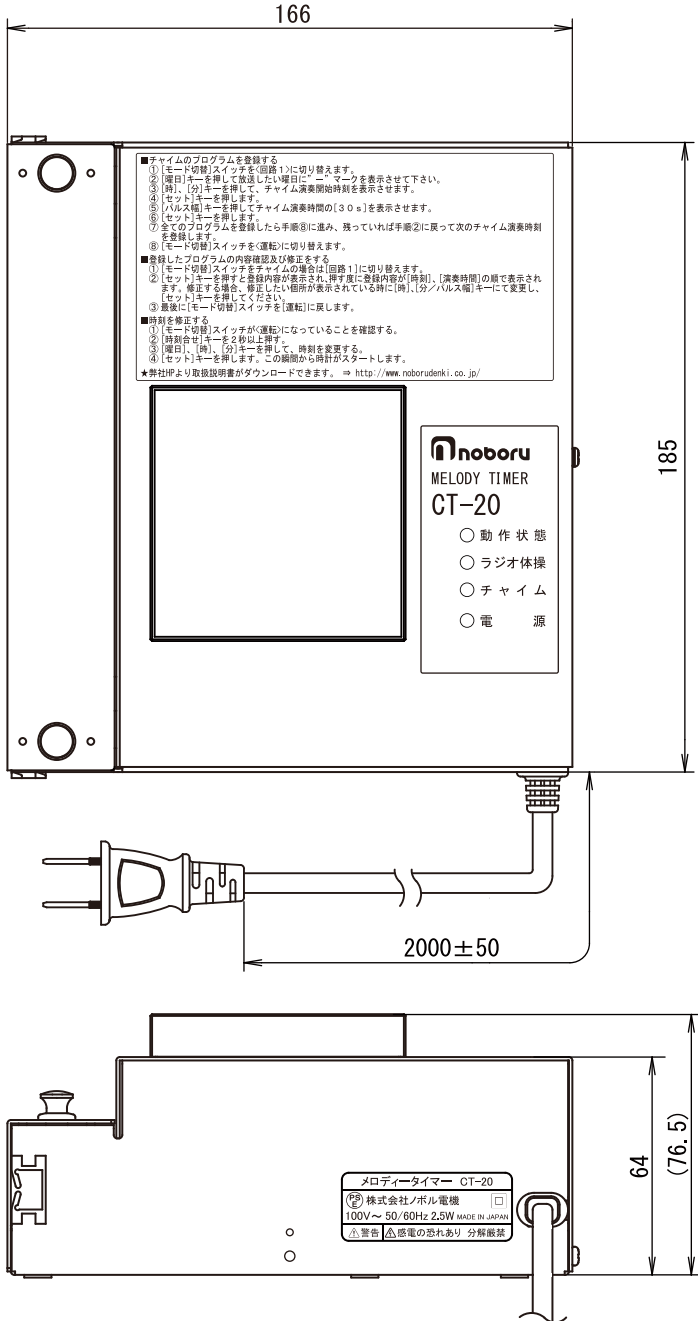
※注：以下の点滅は正常です。

- ・電源ON時、5秒程度点灯します。(内蔵曲のデータを読み込んでいることを示しています。)
- ・起動時、遅延時間中は点滅します。

仕様

電源電圧	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	2.5W(電気用品安全法による測定方法に基づく)
消費電流	AC30mA以下
タイムスイッチ部	
形式	H5S-WA2 デジタル・タイムスイッチ(オムロン)
分類・種類	水晶発振計数繰返し式タイマー
プログラムステップ数	プログラムステップ数80(2回路合計) パルス動作は1セット(ON/OFF)で1ステップ必要 ※通常ON/OFF動作は1セットで2ステップ、サイクル動作は1セットで4ステップ必要
LCD表示	曜日、時、分、秒(LCDによるデジタル表示) AM 0:00:00 ~ 11:59:59, PM 0:00:00 ~ 11:59:59 または、0:00:00 ~ 23:59:59
設定方法	用途別キースイッチ方式
最小設定単位	1分単位(パルス動作は1秒より)
停電補償期間	連続5年以上(25℃)
時間精度	±15秒/月以下(25℃)
外部入力	時刻合わせ入力 接点短絡により00分00秒に合わせる。 無電圧接点容量 DC5V、0.1mA以上必要 時刻合わせボタン ONすることにより00分00秒に合わせる。
出力部	
信号出力	0dBV(1V) 600Ω  不平衡 音量調節器付 スイッチ切換
内蔵音源	以下の16曲から回路1と回路2に1曲づつ割り当てる。 0: テスト音 1: ラジオ体操第1 2: ラジオ体操第2 3: ラジオ体操第1&ラジオ体操第2 4: ウェストミンスターA 5: ウェストミンスターB 6: ウェストミンスターC 7: ホイティングトンA 8: ホイティングトンB 9: 別れのワルツ A: 家路 B: ベール・ギェント朝 C、D、E: データなし F: テスト音
出力接点回路	回路1または回路2を設定時動作 無電圧マーク接点: DC24V/1A(抵抗負荷)
遅延時間	0~約5秒
LED表示	電源表示灯 : 青 ラジオ体操表示灯: 橙 チャイム表示灯 : 橙 動作状態表示灯 : 赤
使用温度範囲	-10℃~+50℃
外装	ケース(鋼板) マンセル5Y9/0.5 1分ツヤ近似色 スモールメッシュクリーム
外形寸法	幅166mm 高さ185mm 奥行64mm ※タイムスイッチ部・突起部を除く。
質量	約1.5kg
付属品	ブラケット(2個)、バインドねじ(M3×6、2本)、ゴム足(4個)、タイムスイッチ(H5S-WA2)取扱説明書

■ 外観図(単位：mm)



■プログラム登録内容表

プログラムの登録内容を下表に記録しておいてください。

登録内容の変更が予測される場合はコピーしてご利用されることをおすすめします。

<放送時間記録用紙>

出力	記入例		月		火		水		木		金		土		日			
	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2		
放送	チャイム (パルス) (30秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (30秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (30秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (30秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (30秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (30秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (30秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (30秒)	ラジオ 体操		
A M	8:20																	
		8:25 (4分)																
	8:30																	
	8:59																	
	9:00																	
	10:00																	
	10:05																	
P M	12:00																	
	12:37																	
	12:40																	
	3:00																	
	3:10																	
	3:55																	
	4:00																	
	4:25																	
	4:55																	
	5:22																	
	5:30																	
	6:00																	
	6:30																	
7:00																		
7:30																		
8:00																		

